

モビリティ用途コンポジットシンポジウム 2024 開催案内

(16th Symposium on Composites for Mobility Applications)

主催 日本材料学会・複合材料部門委員会, SAMPE Japan・コンポジット委員会, 同志社大学・先端複合材料研究センター
協賛 (予定) (公社)自動車技術会・関西支部, プラスチック成形加工学会・関西支部, (公社)日本設計工学会・関西支部

<開催趣旨>

sustainable な社会の実現のために, オートモーティブにおいては, 電気自動車のバッテリーケースや水素タンクへの複合材料の利用が進められており, 「空飛ぶ自動車」と称される次世代モビリティにおいては, 炭素繊維強化複合材料の適用が必要不可欠と考えられます. 2009年から毎年開催しております「自動車用途コンポジットシンポジウム」を, 今年度から対象を広げ「モビリティ用途コンポジットシンポジウム」として開催することとしました.

趣旨にご賛同いただけます皆様の技術紹介ならびに研究発表を大いに期待しております. 特に, 企業の方々の最新の技術紹介を大いに歓迎しております. 学生の研究発表はポスターセッションとし, 2~3分間程度のショートプレゼンテーションとポスター発表を予定しております.

関連の分野に関心をお持ちの方々や関係される多数の方々の積極的なご参加をお待ちしております.

開催日 2024年11月8日(金) 10:00~18:30 (予定)
会場 同志社大学今出川校地 室町キャンパス寒梅館 ハーディーホール
参加費 主催・協賛学協会 会員: 12,000円 (不課税)
非会員: 23,000円 (税込み)
ポスター発表学生: 無料
主催・協賛学協会 学生会員: 無料
非会員 学生: 3,000円 (税込み)

<プログラム(暫定版)>

同志社大学・先端複合材料研究センターのHPにて随時更新いたします.

<http://rdccm.doshisha.ac.jp>

10:05 - 11:15 ポスター発表 (ショートオーラル・セッション)

12:30 - 13:00 ポスター発表(ディスカッション)

13:00 - 13:35 **[基調講演 1]** 「産業用ヘンプ等, 天然繊維のコンポジットへの適用拡大に向けた海外動向」
金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター 斉藤義弘 氏
複合材料においても環境低負荷が求められる中, 材料供給が課題である天然繊維について, アジア, 北米, 欧州等における天然繊維の栽培・加工等のサプライチェーンの状況について紹介する.

13:35 - 14:10 **[基調講演 2]** 「セルロースナノファイバー強化プラスチックの発泡成形」
京都市産業技術研究所 伊藤彰浩 氏
セルロースナノファイバー(CNF)は植物由来で高強度な特性を有し, 低環境負荷の樹脂補強繊維として期待されている. CNF 強化プラスチックを発泡させることで軽量化や材料削減の効果を高めることが出来る. 本講演では, CNF 強化プラスチック発泡体の製法や特性について解説する.

14:10 - 15:50 ポスター発表(ディスカッション)・技術紹介・一般講演

